Vol.116
No.3
2025.11.7

# 農職組ニュース

茨城大学農学部
労　働　組　合

## 第１回団体交渉報告

令和７年度第１回３地区組合合同団体交渉が行われました。

10 月 24 日、事務局棟第１会議室において、今年度第１回３地区組合合同団体交渉が開催されました。今回、当局から提示された議題は、先般の人事院勧告を踏まえた教職員賃金規程の一部改正についてでした。

ご承知のとおり、本学では人事院勧告に準拠し、基本給、期末手当、勤勉手当、通勤手当等の引上げが提案されています。この改定が実施されれば、多くの教職員で月額 1 万円を大きく超える賃上げとなる見込みです。財政難から準拠が困難と表明している国立大学も少なくない中で、一見すれば喜ばしい提案のように見えます。しかしその主な原資は、退職者や休職・休業者の増加に伴う人件費支出の減少（約１億５千万円超）であるとの説明でした。すなわち、実質的には現職教職員の負担増との引き換えによる原資であり、今後の継続性の観点からも大きな不安を抱かざるを得ません。引き続き、大学財政と賃金改定の動向を注視していく必要があります。

また、組合側からは阿見地区の駐車場整備問題について提起しました。主な論点は以下のとおりです。

1. 平成 31 年度全学交通対策連絡会議で「2024 年に整備完了」とされたが、未着手である。
2. 同会議で整備の優先順位を「日立 → 阿見 → 水戸」と定めていたにもかかわらず、阿見が未着手のまま水戸地区で工事が先行している。
3. 駐車場料金の収支報告は連絡会議で定期的に行うこととされていたが、同会議は解散され、報告は一度も行われていない。
4. 駐車場整備は経常経費で実施し、維持管理は料金収入で賄うと定められているが、整備未着手の状態で徴収された料金が相当額に上ると考えられる。また、整備が行われないまま学生から徴収を続けているのは問題である。
5. 整備が進まない中で建物の改修工事が始まり、教員駐車場が資材置き場となっている。今後さらに整備が遅延することは避けられず、当局はその状況を把握しているのか。また、教員が学生駐車場を利用することになった場合、満車に近い状態で整備工事を進めることが可能なのか。
6. iFC および体育館前駐車場が整備計画に含まれていない（iFC は 2021 年度に計画繰入れ済み）

当局からは、「担当者不在のため、後日回答する」との説明にとどまりました。

２週間経った今でも当局からの回答はありません。

労働組合による団体交渉は、労使が対等な立場で誠実に協議することを保障した、労働組合法上の権利です。しかし今回の交渉では、当局の姿勢に上意下達の印象が強く、特に駐車場問題については、私たち現場の切迫した状況が十分に理解されていないと感じました。

団体交渉は、労使が互いに誠意をもって意見を交わし、より良い茨城大学を共に築くための場であるべきです。今後、駐車場整備計画の明確化と早期実現に向けて、組合としては一層強い姿勢で臨む必要があると考えます。

以上

# 鍬耕祭フリーマーケットご報告

10 月 18 日(土)、組合はフリーマーケットとヨーヨー釣りで鍬耕祭に参加しました。
当日の売上にリサイクルショップでの換金を加えると収入は 25,697 円、
支出はヨーヨー代 1,980 円、差引き 23,717 円の利益となりました。
23,717 円は全額、組合へのカンパとさせていただきました。
当日お店番をして下さった皆さま、フリーマーケット用品を提供して
下さった皆さま、ご協ありがとうございました。

※内容についてのお問い合わせや情報提供などありましたら、
農学部労働組合（029-888-8536 /dp37294827@lf.lolipop.jp）までお願いします。